

平成 31 年度

事業計画

社会福祉法人行田市社会福祉協議会

平成31年度 事業計画

第1 運営方針

少子高齢化の更なる進展や、働き方などをはじめとする生活様式の変化に伴って地域社会や家庭の様相は大きく変容し、孤独死やひきこもりなどの社会的孤立の問題、雇用形態に起因する低所得などの経済的困窮の問題、虐待や悪質商法などの権利擁護の問題など地域における生活課題は、深刻化・拡大化しています。このように多様化する地域課題に対応していくためには、公的なサービスの利用を促進することに加え、地域を基盤とした包括的な支援体制の整備が必要となっています。

現在、国においては、複合的な課題を抱える世帯等への支援にあたり、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指す取り組みが進められています。

本会では、今年度が第3期目の「地域福祉推進計画」の策定年となることから、地域住民との意見交換会の場である「支えあいミーティング」を開催し、地域課題の把握に努め、課題解決に向けた取り組みを積極的に進めていきます。また、「誰もがお互いに支えあい、自分らしく生き生きと暮らせる共生のまち行田」の活動理念に基づき、関係機関や団体とのネットワークをいかした地域福祉活動を推進し、地域の助けあい活動などの取り組みを引き続き実践しながら、誰もが住み慣れた地域で心豊かに自立した生活を送ることができるよう必要な支援につなげ、住民同士で支えあえる地域づくりを進めていきます。

- 1 地域福祉を総合的に推進します
- 2 高齢者、障がい者及び児童福祉サービスの充実に努めます
- 3 権利擁護事業及び生活支援事業の充実に努めます
- 4 指定管理施設の適正な管理に努めます
- 5 適正な法人運営と経営基盤の強化を図ります

第2 重点事業

1 地域福祉の総合的な推進

(1) いきいきサロン活動の推進及び支援 (予算：4,202千円)

高齢者のふれあいの場となるいきいきサロン活動を支援し、仲間づくりや健康づくり、また高齢者の閉じこもり防止に取り組みます。

【数値目標】いきいきサロン設置数 100カ所 (H30 95カ所)

(2) ボランティアセンターの機能充実 (予算：1,175千円)

①相談業務

ボランティアの需給調整、情報提供などを行い、ボランティアをしたい人とボランティアに来てほしい人をつなぎます。

【数値目標】需給調整件数 100件 (H30 90件)

②ボランティア体験プログラム

ボランティアのきっかけづくりとして「彩の国ボランティア体験プログラム2019 in 行田」を実施し、特に中学生・高校生等を中心とした若年層のボランティアの育成を図ります。

【数値目標】参加者数 延270人 (H30 延250人)

③ボランティア講座

気軽に参加できる初級講座や実践者向けのレベルアップ講座を行います。また、行田青年会議所(JC)や市民大学と連携し、自助・共助による減災活動に取り組める地域づくりのために災害ボランティア養成講座を行います。

【数値目標】5回開催 受講者数 延220人 (H30 延210人)

④ボランティア団体の活動支援

ボランティア団体連絡協議会等への支援を行い、各グループ間の活動の活性化を図ります。

⑤福祉教育の推進

社会福祉協力校を指定し、児童や生徒の社会奉仕及び社会連帯の精神

を養い、福祉体験や地域との交流活動を行います。

平成 31 年度～平成 33 年度の指定予定校 小学校 12 校 中学校 3 校

⑥情報発信

様々なボランティア講座やボランティア活動について、本会ホームページや SNS、「社協だより」による募集や活動紹介を行うほか、市民活動サポートセンターとの連携・協働を図り、ボランティア活動の情報発信に努めます。

(3) 地域安心ふれあい事業

(予算：5,217 千円)

①いきいき・元気サポート制度（有償ボランティア）の推進

地域の支え合いの理念に基づき、日常生活において支援を必要とする高齢者や障がい者などに対して、サポーターとして登録された方々による見守りや家事援助などのサービスを提供します。また、新たに通所系サービス等を行う介護保険事業所において、身体介護以外の軽作業のサービスを提供します。

【数値目標】 サポーター数 180 人 (H30 180 人)

利用者数 300 人 (H30 300 人)

活動時間数 3,500 時間 (H30 3,000 時間)

②支えあいマップづくりの推進

「支え合いの地域づくり」の取り組みとして、新たに支えあいマップセンターを設立し、地域住民が支援を必要とする人や地域課題を共有するために、支えあいマップの作成を推進します。また、全国の活動紹介やモデル地区を設定し、活動の進捗状況を紹介するとともに、支えあいマップを活用した地域づくりの充実、活性化を図ります。

【数値目標】 更新自治会数 80 自治会 (H30 75 自治会)

(4) ふれあい福祉健康まつり

(予算：2,370 千円)

市民相互のふれあいの場をつくり、福祉に対する理解を促進します。

【数値目標】 来場者数 約 5,500 人 (H30 約 5,000 人)

(5) 共同募金配分金事業

(予算：13,438千円)

共同募金会からの配分金により、高齢者や障がい者・児童など、地域で援助や支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう各種事業を実施します。

(6) 生活支援体制整備事業

(予算：3,405千円)

高齢者が住み慣れた地域で元気に安心して生活できるよう生活支援・介護予防サービスの関係機関と連携・協働し、地域住民主体の支えあいの体制づくりを推進します。また、今年度からは、第2層（中学校圏域）生活支援コーディネーターとして、第1層（市全域）の機能の下で具体的な活動を展開するため、2圏域をモデル地区として設定し、協議体を立ち上げます。

①地域に不足するサービスの創出

- ・サービスの担い手の養成
- ・高齢者が活動できる場の確保

②ネットワークの構築

- ・関係者間の情報共有
- ・関係機関の連携と体制づくり

③地域ニーズと取組みのマッチング

- ・地域ニーズとサービスや活動のマッチング

2 高齢者、障がい者及び児童福祉サービスの充実

(1) 地域活動支援センター事業（Ⅱ型）

(予算：13,459千円)

日常生活に支障をきたしている障がい者に対して、通所により創作活動、機能訓練、食事、入浴などのサービスを提供し、利用者が地域において自立した社会生活を営むことができるように支援します。

【数値目標】利用者数 一日型 延 960人（H30 延 970人）

短時間型 延 600人（H30 延 500人）

半日型 延 288 人 (H30 延 300 人)

※「一日型」…1日を通じて、入浴、食事提供、レクリエーション等のサービスを提供(送迎あり)

※「短時間型」…概ね2時間以内の滞在で、指導員による個別機能訓練サービスを提供(送迎なし)

※「半日型」…半日を通じて、個別機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供(午前、午後入替制、送迎あり)

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業(予算:通所型A 2,482千円、一般介護予防教室事業 517千円)

介護保険の被保険者に対して、要介護状態または要支援状態となることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう「通所型A」及び「一般介護予防教室事業」を実施します。

※「通所型A」…基本チェックリストで、要介護状態となるおそれのある方及び要支援状態の方に対して、集いの場を設け、レクリエーションや体験講座を実施します。

※「一般介護予防教室事業」…65歳以上の高齢者に対して、健康づくりや生きがいがづくりの教室事業を実施し、介護予防に関する活動の普及・啓発に努めます。

【数値目標】利用者数 通所型A 延 720 人 (H30 延 600 人)

一般介護予防教室事業 延 950 人 (H30 延 1,075 人)

(3) 機能回復訓練事業 (予算:30,777千円)

高齢者や障がい者に対して、心身機能の維持向上と健康増進を目的とした訓練を行います。また、運動の効果が体力面だけでなく、認知機能の向上に結びつくよう、訓練内容を工夫しながら実施します。

【数値目標】機能回復訓練室 延 17,000 人 (H30 延 16,500 人)

プール 延 9,300 人 (H30 延 9,000 人)

(4) 居宅介護・重度訪問介護事業 (予算:5,343千円)

障がい者(児)が在宅で日常生活を営むことができるよう、利用者の

身体状況等に応じて身体介護や家事援助などの生活支援を行います。

【数値目標】利用回数 延 870 回（H30 延 850 回）

（５）児童発達支援事業 （予算：7,785 千円）

発育・発達に遅れがあると認められる未就学児が、社会生活に適應できるよう生活指導、機能訓練などを行います。また、今年度から送迎サービスを行い、利用者の利便性向上に努めます。

【数値目標】利用者数 延 720 人（H30 延 870 人）

（６）放課後児童健全育成事業 （予算：122,977 千円）

保護者の就労などにより、昼間常時留守になる家庭の小学生に対して、放課後等の居場所を提供し、その保護及び育成を図ります。

3 権利擁護事業及び生活支援事業の充実

（１）法人後見事業 （予算：394 千円）

成年後見制度に関する相談支援を行います。また、裁判所の審判により、本会が後見人等を受任する法人後見事業を実施し、判断能力が不十分な方の財産管理及び生活上の支援を行います。

【数値目標】受任件数 4 件（H30 3 件）

（２）福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）（予算：3,734 千円）

判断能力が不十分な高齢者や知的障がい・精神障がいのある方に対して、生活支援員の協力により、福祉サービスの利用申込みや契約手続き、日常的な金銭の出し入れなどを支援します。

【数値目標】利用者数 45 件（H30 45 件）

（３）行田市福祉資金貸付事業 （予算：9,812 千円）

一時的に生計困難にある低所得者世帯に対して、生活の安定と自立を図るため、1 世帯 3 万円を限度に貸し付けを行います。

【数値目標】貸付件数 96 件（H30 120 件）

（４）生活困窮者自立相談支援事業 （予算：12,749 千円）

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、相談支援を行い、関係機関と協力して支援計画を作成し、自立に向けた支援を行います。

【数値目標】新規相談支援件数 60件（H30 56件）

支援実績件数 延1,200件（H30 延1,140件）

(5) 学習支援事業 (予算：5,728千円)

生活保護世帯や生活困窮世帯の子どもに対して、学習支援の提供を行います。

【数値目標】学習支援利用者数 25名（H30 24名）

(6) 彩の国あんしんセーフティネット事業 (予算：20千円)

県内の社会福祉法人で組織する社会貢献活動推進協議会の会員となり、生活困窮者の自立の支援を行います。

4 指定管理施設の適正な管理

運営経費の節減を図るとともに、施設を安心して利用していただけるよう、設備等の適正な管理に努めます。

(1) 行田市総合福祉会館 (予算：60,292千円)

【数値目標】利用者数 56,500人（H30 56,000人）

(2) 行田市老人福祉センター (予算：39,753千円)

【数値目標】利用者数 20,000人（H30 20,000人）

(3) 行田市障害者福祉センター (予算：17,638千円)

5 適正な法人運営と経営基盤の強化

(1) 理事会、評議員会の開催 (予算：202千円)

理事会、評議員会等を開催し、事業運営の透明性の向上や財務規律の強化を図ります。

(2) 会員会費増強活動 (予算：118千円)

地域住民をはじめ関係団体や企業等の協力を得て、会員会費を確保することで、経営基盤の強化を図ります。

【数値目標】団体会員 110 団体（H30 100 団体）

（３）広報活動の充実 （予算：2,082 千円）

社協だよりの発行（年 5 回・全戸配布）と同時にホームページや SNS 等により、情報発信を常に行い、広報活動の充実を図ります。

第 3 実施事業一覧

1 地域福祉に関する事業

（１）いきいきサロン事業 《重点》〔自主〕

（２）ボランティアセンター事業 《重点》〔自主〕

ボランティアの相談、ボランティア活動へのきっかけづくりやボランティア講座の開催、ボランティア団体の活動支援、ボランティアの情報発信、社会福祉協力校の指定、災害ボランティアの養成

（３）地域交流事業 〔自主〕

地域の世代間交流の場づくり

（４）ふれあい福祉健康まつり 《重点》〔自主〕

（５）地域安心ふれあい事業 《重点》〔受託〕

いきいき・元気サポート制度、支えあいマップづくり

（６）共同募金配分金事業 《重点》〔自主〕

①一般募金配分金事業

いきいきサロン事業、ふれあい里親事業、福祉団体助成事業、地域福祉活動事業、社会福祉協力校助成事業

②歳末たすけあい募金配分金事業

歳末たすけあい援護事業、ふれあい福祉健康まつり、ひとり親家庭新入学祝い事業、在宅生活支援事業、ボランティア活動助成事業、訪問理美容サービス事業、地域福祉活動事業、社協だより発行、学校図書

支援事業、いきいきサロン事業、災害ボランティアセンター推進事業、
支えあいマップ事業、市民ベンチ事業、障害者（児）スポーツ・レク
リエーション大会

(7) 協力団体への助成

行田市自治会連合会、行田市民生委員・児童委員連合会 [自主]

(8) 生活支援体制整備事業 《重点》〔受託〕

2 高齢者・障害者福祉に関する事業

(1) 車いす貸出事業 [自主]

(2) 居宅介護・重度訪問介護事業 《重点》〔自主〕

(3) 福祉車両貸出事業 [自主]

(4) 訪問理美容サービス事業 [自主]

(5) 手話通訳者派遣事業 [受託]

(6) 地域活動支援センター事業（Ⅱ型） 《重点》〔受託〕

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業（通所型A、一般介護予防教室） 《重点》〔受託〕

(8) 機能回復訓練事業 《重点》〔受託〕

(9) 各種教室事業 [受託]

3 児童福祉に関する事業

(1) 児童発達支援事業 《重点》〔自主〕

(2) おもちゃ図書館 [受託]

(3) ファミリー・サポート・センター事業 [受託]

(4) 放課後児童健全育成事業 《重点》〔受託〕

(5) 児童センター事業 [受託]

(6) ふれあい里親事業 [自主]

4 権利擁護及び生活支援に関する事業

- (1) 法人後見事業 《重点》〔自主〕
- (2) 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと) 《重点》〔受託〕
- (3) 行田市福祉資金貸付事業 《重点》〔自主〕
- (4) 生活福祉資金貸付事業 〔受託〕
- (5) 生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業、学習支援事業) 《重点》〔受託〕
- (6) 彩の国あんしんセーフティネット事業 《重点》〔自主〕
- (7) 法外援助による一時援護事業 〔自主〕

5 指定管理に関する事業

- (1) 行田市総合福祉会館の指定管理 《重点》〔受託〕
- (2) 行田市老人福祉センターの指定管理(大堰永寿荘、南河原荘) 《重点》〔受託〕
- (3) 行田市障害者福祉センターの指定管理 《重点》〔受託〕

6 適正な法人運営と経営基盤の強化

- (1) 理事会、評議員会の開催 《重点》〔自主〕
- (2) 各種委員会の開催 〔自主〕
- (3) 会員会費増強活動 《重点》〔自主〕
- (4) 社協だよりの発行 《重点》〔自主〕
- (5) ホームページの充実 《重点》〔自主〕

7 その他

- (1) 埼玉県共同募金会行田市支会
- (2) 日本赤十字社埼玉県支部行田市地区